

## Y27a 太陽教育コンテンツ Solar Projection Mapping を用いた教育活動報告

萩野正興、日江井榮二郎、櫻井隆（国立天文台）、三浦飛未来、石塚千彬、日比野由美（明星大）、大辻賢一、齊藤昭則（京都大）

本年度天文学振興財団の援助を受け、「理科の教室と宇宙を結ぶプロジェクト」（代表：日江井榮二郎）と称し活動を行っている。本プロジェクトでは初めての試みとして直径 2m のバルーンに太陽像を映し出すコンテンツを開発した。このコンテンツを Solar Projection Mapping(以下、SPM)と呼んでいる。この SPM を用いれば、太陽が球体であることを容易に認識してもらえ、太陽の迫力も感じてもらうことができる。それが知的好奇心を揺さぶり、本物の星、特に太陽や天文学への興味に繋がることを教育目的として掲げている。

この SPM を用いた授業を全国各地で展開し、これまでに 6 校の小中学校、高校 1 校、大学 2 校、一般向け公開講座で 1 件、国立天文台特別公開で好評を得ている。これまでは太陽像（例えば太陽フレア発生時）のムービーを作り、バルーンに投影する方法で講演を行ってきた。今後はダジック・アース（代表：齊藤昭則）に国立天文台太陽観測所で得られたデータをコンテンツとして加える計画を進めている。

本講演ではこれらの活動の報告を行い、ダジック・アースとの連携や将来の展望を紹介する。